

審議会等の会議の概要の記録

会 議 の 名 称	令和7年度 第1回甲州市介護保険運営協議会
開 催 日 時	令和7年6月27日 午後2時00分 ～ 午後3時30分
開 催 場 所	甲州市役所地下1階 第1会議室
議 題	(1) 介護保険事業について (2) 地域支援事業について (3) 地域包括支援センター事業について (4) 日常生活圏域ニーズ調査等について (5) その他
出 席 委 員	坂本昇委員、深澤告委員、天野眞由美委員、山本充委員、 早乙女修一委員、田邊聡委員、矢崎聡委員、 宮原健一委員、古屋俊明委員、
会議の公開又は 非公開の区分	公開
会議を一部公開 又は非公開とし た場合の理由	
傍 聴 人 の 数	0人
審 議 概 要	別紙のとおり
事務局に係る事項	介護支援課 7名 TEL:0553-32-5066 (直通)
そ の 他	甲州市区長会役員の交代により古屋俊明氏が、甲州市介護連絡協議会の役員交代により矢崎聡氏、田邊聡氏が、甲州市医師会役員変更により雨宮美和氏が甲州市介護保険運営協議会委員就任。市長より委嘱状を交付。

令和7年度 第1回甲州市介護保険運営協議会

1 開会

甲州市介護保険運営協議会規則第6条「会議の定足数」を満たしているため、本日の協議会は成立し開会とする。

2 会長あいさつ

介護保険事業というと、個人的な主観で見れば介護保険料が高い印象ばかりが先行していたが、事前に事務局より送付いただいた資料によれば、甲州市の介護保険事業については、高齢化率も高く、介護保険料は他市より安い。それでもサービスは多く、認定率も高いという実情がある。こうした現状認識をするところから、介護保険運営を勉強する気持ちで、委員の皆様には活発な意見交換をしていただきたい。

3 議事

(1) 令和6年度介護保険事業について

介護保険事業の状況（介護保険担当）

甲州市の高齢化率、高齢者世帯数、令和7年3月末時点の要支援・要介護者数、令和6年度介護保険料の収納見込額について説明。

〈質疑応答なし〉

(2) 地域支援事業について（高齢者支援担当）

職種連携の研修会を実施。認知症高齢者ランクⅡが多い。徘徊 SOS ネットワークの登録活用。徘徊搜索訓練の実施。

高齢者等通いの場整備及び運営補助金の説明。新聞広告、各種団体への周知。圏央ネットのウェブ上プラットフォームでも情報発信。多職種連携のための研修会を実施、今後も団体代表者の交流会の実施を予定。

について説明。

■質疑応答

Q:委員

徘徊 SOS ネットワークの登録について、家族がいる方がいいが、単独世帯の方の登録はどうなっているのか。

A:事務局（高齢者支援担当）

現状においても単独世帯の方も制度の対象となっており、ケアマネや民生委員が相談してくれることが多い。今後も登録者増に努める。

(3) 地域包括支援センター事業について（甲州市地域包括支援センター委託者甲州市社会福祉協議会より説明）

- ・総合相談支援 昨年度相談件数2,482件。相談内容は圧倒的に介護保険。相談件数は増加傾向。訪問も状況に応じてさせていただいており、こちらも増加傾向で

ある。

- ・権利擁護事業について、成年後見、高齢者虐待。昨年とほぼ同件数。
- ・ケアマネジメント支援事業についても増加傾向。
- ・地域ケア個別会議では、ケアマネに事例提出してもらい、多職種にて事例検討。隔月でおこなった。事例の出し方、検討の仕方をより工夫して地域課題につながるよう努めた。
- ・居宅介護予防支援は、要支援１、２、基本チェックリストによる総合事業対象者の軽度者向けサービス。延べ件数３，７２６件、前年比増となっている。令和６年度介護予防支援委託事業は３４事業所。市外事業所が圧倒的に多く、市内の事業所が少ないのが課題である。
- ・関係機関との連携事業については、医師会、歯科医師会、薬剤師会への出席。
- ・関連事業との連携で各種会議委員会に出席。

■質疑応答

Q:委員

近所の方が病気を患って、包括へ相談しているのかわからないケースがあるが、民生委員が関わって発見されるのか。それとも自身で相談に行くのか。

A:事務局（甲州市地域包括支援センター委託者甲州市社会福祉協議会）

質問いただいたケースについては、近所の方が気にして民生委員経由で相談されることはある。その場合にはプライバシーの問題もあるので、民生委員から了解を得てもらい、包括でアウトリーチを行うこともある。当然本人が拒否することもあるが、その緊急度合いに応じて介入もあり得るが、理想は本人の了解のもとで行いたい。

Q:委員

私たちがこういった立場で問題を抱えている高齢者の方へ声掛けするのは違うかなと考えているため、民生委員の集まりなどでしっかり意志共有されているのか。

A:事務局（高齢者支援担当）

民生委員が包括支援センターの協力員になってくれているため、そこをお願いしている。

（４）日常生活圏域ニーズ調査について（介護保険担当）

現在Ｒ６～Ｒ８年度の期間で第９期計画が進行している。

今年度は第１０期に向けてニーズ調査を行う。基本的には国の示す調査項目に基づき行う予定。詳細は、８月に行われる国の説明会で判明するが、現時点では大きな変更はないと聞いているため、第９期の調査項目をもとに実施する予定。項目は必須項目、オプション項目、市独自項目に分かれている。独自項目は予防関係、非常時関係が多い。

今後のスケジュールとしては、８月に国の説明会を踏まえて調査票の素案作成。９月の第２回運営協議会で素案を固め、９月中旬に書面決議により調査票を決定、１１月に郵送によるアンケート実施予定。認定調査員の聞き取りを１０、１１月で実施予定である。

〈質疑応答なし〉

(5) その他

- ・ 甲州市地域包括支援センターの委託について（高齢者支援担当）

地域包括支援センターの運営を社協に委託している。今年度限りで終了となる。委託先をプロポーザル方式で募集中である。次回9月の運営協議会で結果を報告させていただく。

- ・ 今年度の介護保険運営協議会の予定について（介護保険担当）

次回9月上旬、9月中旬に書面決議、第4回を3月上旬に実施予定。

■質疑応答

Q:委員

介護人材の不足が問題になっているが、県の方で何か動きがあれば教えていただきたい。

A:事務局（介護支援課長）

調べて次回に報告を行う。

4 閉会

〈第1回甲州市介護保険運営協議会での決定事項なし〉